MONET
MONET TECHNOLOGIES INC.

資料　3

Mobility Innovation

MONET Technologies株式会社

1. 会社概要

MONETの会社概要

クルマや人の移動などに関するさまざまなデータを活用し、需要と供給を最適化
移動における**社会課題の解決**や、**新たな価値創造**を可能にする未来のMaaS事業を行う

会社名	MONET Technologies株式会社
本社所在地	東京都千代田区丸の内三丁目3番1号
設立	2018年9月28日（2019年1月23日 合弁会社化）
役員	代表取締役社長　兼 CEO 清水 繁宏 代表取締役副社長 兼 COO 森川　誠 取締役　宮川 潤一 取締役　山本 圭司
資本金等	50億円
株主構成※2	ソフトバンク株式会社:37.3%、トヨタ自動車株式会社:37.0% 日野自動車株式会社:10.0%、本田技研工業株式会社:10.0% いすゞ自動車株式会社:1.1%、スズキ株式会社:1.1%、 株式会社SUBARU:1.1%、ダイハツ工業株式会社:1.1%、 マツダ株式会社:1.1%
事業内容	1. オンデマンドモビリティサービス 2. データ解析サービス 3. Autono-MaaS事業

MaaSの先に見据える主力事業　『自動運転ビジネス』

MONET

具体的な取り組み

MONET

3つの取り組みで「モビリティイノベーションの実現」に向けて推進

MaaS
(Mobility as a Service)

「モビリティ」と「サービス」を組み合わせて課題を解決

<主な事例>
- オンデマンド交通サービス
- 医療サービス
- 行政サービス

データビジネス

データ分析から見える事業の価値証明

<主な事例>
- MaaS事業における需要予測
- 人流・車流から見る運行シミュレーション

自動運転

自動運転社会を見据えた実証運行

<主な事例>
- 東広島自動運転実証
- 竹芝技術実証

MaaS事業を一気通貫で支援

サービス検討 → **サービス実装** → **サービス改善**

サービス検討

- 生活圏分析レポート
  地域の移動課題や公共交通の利用状況を分析
- デマンドシミュレーション
  利用者ボリュームや車両稼働率を試算

サービス実装

- オンデマンドモビリティ
  行きたい場所へ、行きたい時に移動
- 医療MaaS
  オンライン診療を可能にする医療サービス
- 行政MaaS
  環境・ニーズに合わせた移動行政サービス
- マルチタスク車両
  サービスに合わせて車室空間と設備をカスタマイズ
- EV車両
  マルチタスク車両のEV

サービス改善

- デマンドダッシュボード
  デマンドサービスの利用実態を把握
- MaaS価値証明
  サービス導入により住民・街にもたらす効果を証明
  ※着手中

人材育成
街の未来を考える、MaaS事業を継続するための講義/ワークショップを提供

導入実績

導入自治体数

75

※開示許可自治体のみ記載

■複数サービス導入自治体
- 安平町（北海道）デマンド/行政
- いわき市（福島）デマンド/行政
- 境町（茨城）　医療/行政
- 昭和村（群馬）　デマンド/行政
- 小山町（静岡）　デマンド/行政
- 伊那市（長野）　医療/行政
- 三重県　医療/行政
- 東広島市（広島）デマンド/行政
- 新居浜市（愛媛）デマンド/医療/行政

■デマンドシステム導入/43事例

■全域デマンド（8事例）
- 富岡市（群馬）
- 沼田市（群馬）
- 昭和村（群馬）
- 鎌南町（千葉）
- 坂井市（福井）
- 小山町（静岡）
- 南部町（鳥取）
- 嘉麻市（福岡）

■エリアデマンド（35事例）
- 安平町（北海道）
- 旭川市（北海道）
- 仙北市（秋田）
- 国見町（福島）
- 境町（福島）
- いわき市（福島）
- 土浦市（茨城）
- さいたま市（埼玉）
- 東京都
- 墨田区（東京）
- 港区（東京）
- 横浜市（神奈川）
- 小海町（長野）
- 北相木村（長野）
- 南相木村（長野）
- 射水市（富山）
- 柏崎市（新潟）
- 越前市（福井）
- 豊田市（愛知）
- みよし市（愛知）
- 岐阜市（岐阜）
- 藤枝市（静岡）

■デマンドシステム導入/43事例

■エリアデマンド（35事例）
- 湖西市（静岡）
- 熊取町（大阪）
- 豊岡市（兵庫）
- 東広島市（広島）
- 福山市（広島）
- 府中市（広島）
- 新居浜市（愛媛）
- 三好市（高知）
- 宮若市（福岡）
- 武雄市（佐賀）
- 有田町（佐賀）
- 日田市（大分）
- 菊池市（熊本）

その他/3事例
- 加賀市（石川）
- 三豊市（香川）
- 琴平町（香川）

■医療MaaS導入/15事例
- 網走市（北海道）
- 北上市（岩手）
- 奥州市（岩手）
- 境町（茨城）
- 伊那市（長野）
- 長岡市（新潟）
- 三重県（三重）
- 鳥羽市（三重）
- いなべ市（三重）
- 浜松市（静岡）

■医療MaaS導入/15事例
- 宮津市（京都）
- 新居浜市（愛媛）
- 五島市（長崎）
- 八代市（熊本）
- 小国郷公立病院組合（熊本）

■行政MaaS導入/24事例
- 安平町（北海道）
- 三笠市（北海道）
- 由利本荘市（秋田）
- 尾花沢市（山形）
- 庄内町（山形）
- いわき市（福島）
- 境町（茨城）
- 笠間市（茨城）
- 渋川市（群馬）
- 昭和村（群馬）
- 佐野市（栃木）
- 日光市（栃木）
- 小山町（静岡）
- 伊那市（長野）
- 三重県（三重）
- 恵那市（岐阜）
- 東広島市（広島）
- 智頭町（鳥取）
- 江府町（鳥取）
- 安来市（島根）
- 新居浜市（愛媛）
- 四国中央市（愛媛）
- 今治市（愛媛）
- 唐津市（佐賀）

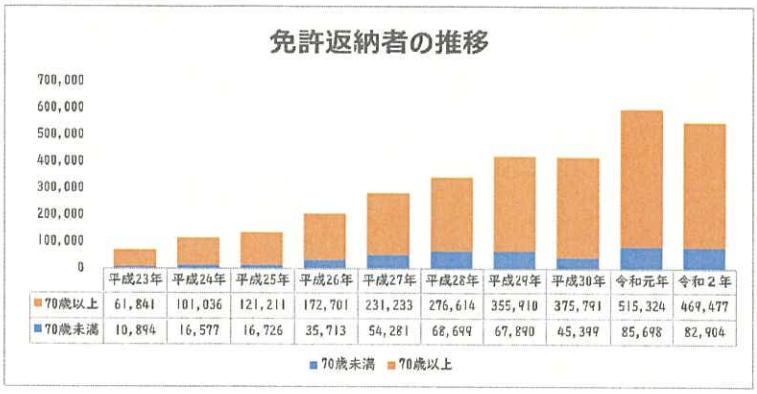
（2024/03/31時点）

2. 医療MaaS概要

MONET

解決したい課題は何か？（一般的な課題）

①高齢者の通院負担増加



	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和２年
70歳以上	61,841	101,036	121,211	172,701	231,233	276,614	355,910	375,791	515,324	469,477
70歳未満	10,894	16,577	16,726	35,713	54,281	68,699	67,890	45,399	85,698	82,904

令和元年に60万人が返納、
70歳以上の免許保有者は**1200万人**

高齢者の事故懸念

↓

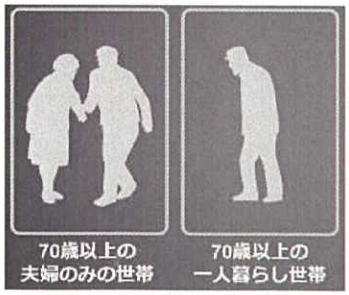
更なる免許返納の推進

↓

外出しない（出来ない）
高齢者の増加

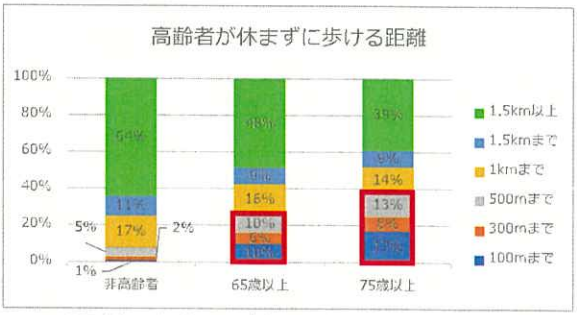
解決したい課題は何か？（一般的な課題）

①高齢者の通院負担増加



70歳以上のみで構成される世帯
国内全世帯の**21%**

※国立社会保障・人口問題研究所、「『日本の世帯数の将来推計（全国推計）』（2018（平成30）年推計）」



65歳以上の約25%は**500m**以上
休まずに歩けない

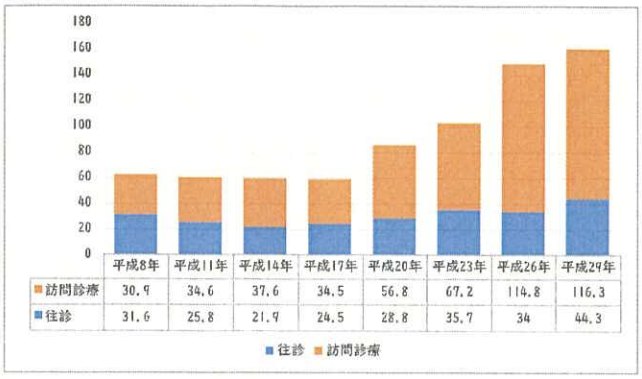
※国土交通省「全国都市交通特性調査」（平成27年）

付き添い家族の減少、公共交通減退などで
高齢者の通院継続のハードルが上昇中

解決したい課題は何か？（一般的な課題）

②増え続ける在宅診療対応

在宅医療を受けた推計外来患者数



	平成8年	平成11年	平成14年	平成17年	平成20年	平成23年	平成26年	平成29年
訪問診療	30.9	34.6	37.6	34.5	56.8	67.2	114.8	116.3
往診	31.6	25.8	21.9	24.5	28.8	35.7	34	44.3

■往診 ■訪問診療

増え続ける在宅医療患者
（＝医師の移動時間増）

急性期患者の対応時間確保の課題、疲弊する地域医療

地域医療_課題サマリ

MONET

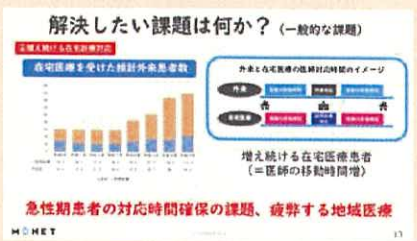
1. 高齢者の通院負担

✓公共交通の減退
✓免許返納率の低迷

2. 患者家族の送迎負担

✓高齢者世帯の増加
✓老老介護の増加

3. 医療機関の時間確保



✓地方医療の医師不足
✓在宅診療の増加

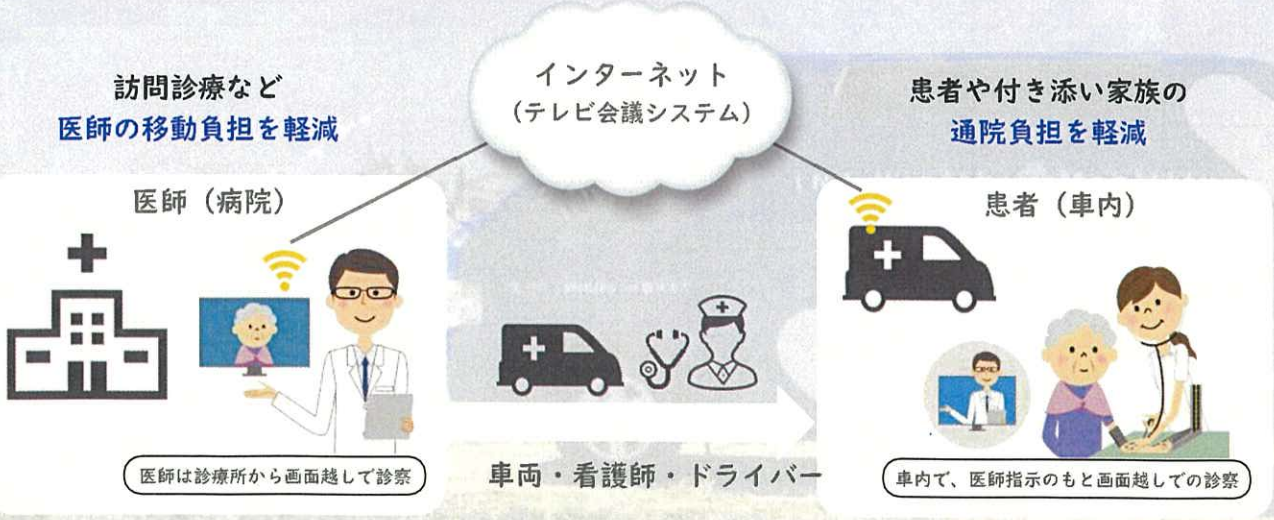
モビリティ×医療を組み合わせ患者・医療機関双方の負担を軽減

医療MaaS

モビリティ
×
オンライン診療

医療MaaSとは

患者のもとへ医療モビリティが出向き
医師は病院にいながら遠隔診療を実施



D to P with N (Doctor to Patient with Nurse)

医療MaaS位置付け

MONET

『医療』と『モビリティ』の掛け合わせで
地域医療へ新たな選択肢を与え、社会課題を解決するサービス

医師・患者の状況に応じ、
外来/在宅医療に加わる次の一手を加え
選択肢の増加、リソースのRe：バランスを図る

【実現する手段】

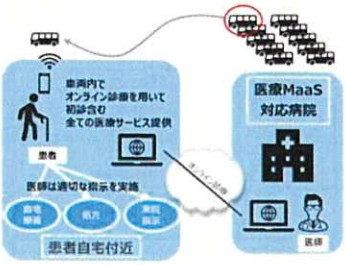
オンライン診療　巡回診療　巡回検診

オンライン診療をやることが目的ではない。

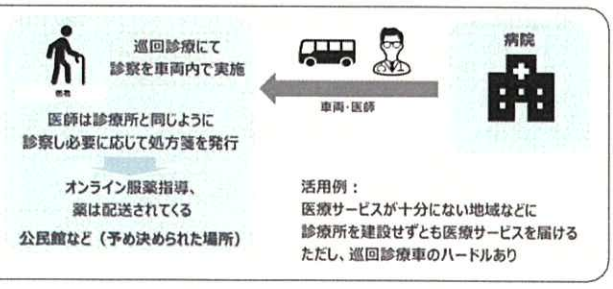
医療MaaSモデル

MONET

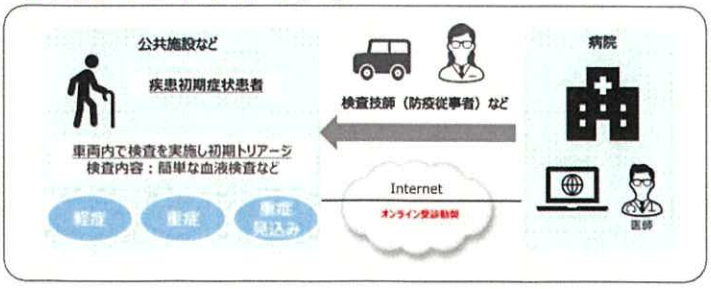
1. 医療モビリティを呼ぶモデル

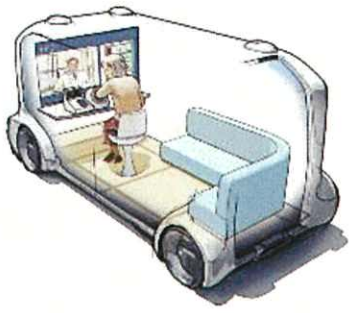


2. 巡回診療モデル



3. 検査モビリティモデル





医療専用車両

医療専用で使いやすいアイテムを装備

マルチタスク車両

サービスに応じて「車室空間と設備をカスタマイズ」

ベース車両
ハイエースグランド
キャビン

オンデマンド

移動型窓口

医療サービス

移動型アパレルショップ

行政サービス

体験型マンションサロン

オンライン診療の流れ

MONET

患者とは事前にオンライン診療日時を相談
予約患者のみ診療を実施

⓪オンライン診療日時を相談
（対面診療時）

①診療車が医療スタッフをお迎え

②乗車して患者宅へ

③患者が車内へ乗車

④保険証等により患者確認、対面問診

⑤担当医をビデオ会議システムで呼び出す。

⑥患者情報・バイタル・問診結果を確認

⑦ビデオ会議システムで診察

⑦-1　医師の指示の元、診察サポート

⑧患者、医療スタッフへ診察結果を説明
→病院・医院の医療記録に記載する。

⑨医師から看護師へ処置などを指示

⑩次回予約・診療費支払い等の説明

オンライン診療併用のメリット

MONET

1. 継続的な通院

✓通院困難による
治療中断の防止

2. 診療時間の確保

✓医師の移動時間削減に
よる診察効率化

3. 訪問診療回数の削減

✓患者の状況にあわせ
訪問診療の回数調整

医師移動時間削減・診療効率UPによる地域医療機関の負担減へ

診療時間の効率化

MONET

医療MaaSの導入により、診療業務の効率化を実現

定期的な診療の**数回をオンライン診療に置き換え**

【Before】 訪問診療

【After】 医療MaaS

	医師の拘束時間	診察患者数
Before	57分	1人
After	15分	5人

※上記はあくまで一例となります

3. 網走市医療MaaS導入事例

MONET

移動型医療サービス導入の背景と課題

網走市の課題認識

・当市が属する北網医療圏 医師偏在指標は**全国・全道ともに下位**にあり、
地域医療を担う**医師数の不足が深刻化**している。
・一方で**高齢者等に対する医療ニーズが拡大**し続けている。
・自家用車が主要な移動手段である当地域において、**免許返納後の高齢者**にとって
通院のための**移動負担は大きい**。（**不安も大きい**）

医師不足による医療のひっ迫を回避しながら、
必要な医療を提供していくために、
従来の外来・訪問診療以外の新たな診療手段を構築する必要がある

MONET

移動型医療サービス導入の目的と位置づけ

本事業の目的

医療とモビリティを組み合わせる本事業は地域医療に新たな「選択肢」を生み出し、
地域医療が抱える課題を解決する仕組みであり、慢性疾患を抱えた
通院が困難な患者や医師の負担軽減を図ることを目的とする

移動型医療サービスは、従来の外来診療、訪問診療、訪問看護等と合わせて
医療を提供する**一つの「選択肢」**として実施するもの

MONET

網走市移動型医療サービス（実証）事業 概要

患者のもとへ医療モビリティが出向き
医師は病院にいながら遠隔診療を実施

MONET

マルチタスク車両

ハイエース車両をベースに、独自架装を実施

ベース車両	ハイエースワゴン グランドキャビン 10人乗り（4ドア Sロング） 普通乗用自動車（3ナンバー） ４WD
メーカーオプション	イージークローザー付き片側パワースライドドア パノラミックビューモニター 寒冷地仕様
販売店オプション	スタッドレスタイヤ、スチールホイール4本セット フロアマット（前席） サイドバイザー ナンバーフレーム（前後） ＴＣナビ ドライブレコーダー2 カメラ デジタルインナーミラー
備考	多目的に車両レイアウト変更が可能 折り畳み可能なベッドオプション 手すり、3段ステップ タイヤチェーン